

子育て支援に貢献

「ぷろじえくと えん」の皆さん

『子育て中のお母さんが楽しく子育てできたらいいな…。』そんな思いから平成15年3月にボランティアで読み聞かせをする活動を開始した「ぷろじえくと えん」の皆さん。メンバーは、子育て中や子育てが一段落した主婦達です。メンバー達は、その後“赤ちゃんふれあい会”、“アートスタート”と子育てに関する事業を次々と展開していきました。

その中でも特に、全国的にもめずらしい“赤ちゃんふれあい会”の取組を継続していることが評価され、住友生命保険相互会社が主催する第4回『未来を築く子育てプロジェクト』において内閣府特命担当大臣(少子化対策)賞と未来大賞を受賞されました。

この受賞を受け西浦公子代表は、「何をするにも人々の協力があつてできるもの。これからも、人と人とのつながりを大切にしながら、楽しんで活動していきたい。」と感謝の気持ちを述べていました。

子育ての心強い味方として、今後も活躍が期待されます。おめでとうございます。



赤ちゃんふれあい会は、未来の子育て世代育成など、多くの効果がある取組と言われています。

— 郷土の誇り —

いわみの歴史探検隊

その1 ~人物編~



岩美町名誉町民 澤 春蔵さん(大谷出身)

春蔵さんは、明治34年、澤房蔵さんの四男として大谷に生まれました。幼い時から足が不自由だった彼は、当時の最先端技術であった自動車に注目し、質素な生活で蓄えた資金を元に運送業を始めました。

その後苦労を重ねましたが、「人の三倍は働く」をモットーに懸命に働き、現在大阪・京都・兵庫・鳥取・島根という2府3県に拡大した一大旅客運送ネットワーク企業『日本交通』の礎を築きました。

春蔵さんは、故郷へ奉仕する気持ちを常々持ち、故郷の出身者の積極的な雇用、環境整備にも貢献したすばらしい方です。春蔵さんの死後、国は彼の功績に対し、五位勲三等瑞宝章を贈り、また村の有志により顕彰碑も建立されています。

これから超高齢化社会により、皆さんの移動手段として欠かせなくなるであろうバスなどの公共交通。岩美町出身の方が築いてくれた日本交通(株)を誇りに思いながら、積極的に利用して守っていききたいですね。



春蔵さんの顕彰碑の前を運行する日交バス